



学習面へ切り替え

梅雨空の下、あじさいが色づき、季節の移ろいを感じる頃となりました。雨の日が続くと外遊びの時間は限られますが、子どもたちは教室や体育館で工夫を凝らし、友達と協力しながら活動しています。さて、運動会を終えた今、子どもたちは大きな達成感と自信を胸に抱いています。その気持ちを大切にしながら学習へと意識を切り替え、子どもたちが落ち着いて学習に取り組むことができるよう、全教職員で共通した指導や支援を行い、学びの基盤づくりを進めています。具体的には、「話をしっかり聞く力」「自分の考えを伝える力」「最後までやり抜く力」など、これからの学びに必要な力を育てることを大切にしています。授業の中で新しい発見をしたり、友達と意見を交わしたりする姿から、一人ひとりの成長を感じます。日々の小さな変化や努力を見逃さず、温かく見守っていきたいと思います。

先日は、玉東町保小中連携研修会において、すべてのクラスで公開授業を行い、その取組の様子を保小中の先生方に参観いただきました。また、授業後は、園・小・中それぞれの実践や考え方を共有し合い、相互の理解を深めていきました。

今後も、運動会で培った力や意欲を学習へとつなげ、子どもたちの確かな成長を支えてまいります。引き続き、ご家庭・地域の皆様のご理解とご協力をよろしくお願いいたします。



全体に自分の考えを伝える

グループ内で意見交流

話をしっかり聞く

他の人の意見を聞き取る



田植えて園児と交流

今年も保護者の皆様のご協力により、5・6年生による田植えを実施することができました。今年も、山北保育園の年長さんにも声をかけ、田植えの様子を見学に来ていただきました。最近の田植えは機械化が進み手植えのところはほとんどないため、園児さんも興味津々でした。5・6年生は岩田先生の声に合わせて手際よく植え付けをすることができました。中心となってご指導いただいた森田さんからは、苗の植え方の他にも穂が実るまでどのような過程があるのか等についてもお話をいただきました。今後ご指導を仰ぎながら稲刈りへ向けて、田んぼの管理のほうも勉強していきたいと思います。



ご協力いただきました保護者の皆様、大変お世話になりました。ありがとうございました。

